

○現状と課題

■運用対象は、国債、地方債、政府保証債、地方公共団体金融機構債、財投機関債（５年以下、リスクウェイト10%等条件付き）

■地方債発行量が年々減少する※なか、債券購入が困難になる状況避けるため運用対象の拡大が必要

⇒国の設立根拠法に基づいて設立された株式会社（特殊会社）で、高速道路機構との一体性が高い**高速道路会社債**を運用対象として検討

※市場公募地方債発行額の推移（地方債統計年報より）

年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
発行額	7,274,842百万円	5,529,300百万円	5,501,800百万円

○高速道路会社債について

■設立根拠法に基づき国の様々な監督や認可を受けて政策的役割を果たす、株主は全て財務大臣と沿線の都道府県・政令指定都市

■高速道路の建設と管理を実施。債券は道路の建設・更新・修繕という公共性の高い事業のために発行

■国債や地方債、地方公共団体金融機構債と同等の格付けを有する

■工事完了後、高速道路資産と債務は（独）日本高速道路保有・債務返済機構に引渡され、引渡し後の元利償還は機構が行う

⇒BIS規制のリスクウェイトが20%から10%に変更、主たる債務者が財投機関である高速道路機構となる（高速道路会社との連帯債務）

高速道路会社債のスキーム

大阪府

②債券購入
(購入時は普通社債、リスクウェイト20%)

③機構へ債務引渡しまで
利息の支払い

⑤機構債務引受け後、購入時と同条件で利息の支払い・元本の償還は機構が行う

①高速道路建設等
のため資金調達
(社債発行)
高速道路会社

④工事完了後、債務引渡し

・債務が機構に引渡された時点で、リスクウェイトは10%に変更
・主たる債務者が財投機関である高速道路機構に変更

**日本高速道路保有・
債務返済機構**

(注) 債務引渡し時期は、工事完了の時期に左右されるため社債発行時には定まっていない

(注) 発行年限内（５年債であれば概ね3年経過後）には機構に引渡され、債務の引渡しが行われたことは官報で公告される

■地方債と比較すると高い利回り（スプレッド）が期待できる

令和6年8月（5年債）	条件	令和6年12月（5年債）	条件
地方債	国債C + 6bp	地方債	国債C + 10bp
西日本高速道路会社債	国債C + 17bp	西日本高速道路会社債	国債C + 18bp

■ 1回の発行額が300億円～1,400億円と大きく、1銘柄で数十億円のロット確保が期待でき、保有債券の管理等、事務の効率化を図れる

1

■高速道路会社債の購入について

○銘柄選定の考え方

- 購入対象は併存的（重畳的）債務引受条項付（工事完了後、債務が機構に引渡されるもの）及び一般担保付のものに限る
⇒東日本、中日本、西日本、首都、阪神、本州四国連絡高速道路株式会社
- 購入時の格付けが地方債、地方公共団体金融機構債と同等であること
- 債券の残存期間が5年以下のもの
⇒運用対象としている財投機関債と同じ5年以下に限定

○購入方法

- 毎月、引合い（入札）で行っている5年限、30億円の枠を活用して予約購入する
 - 5年債を定期的に発行する社（令和6年度時点では、東日本、中日本、西日本、首都高速）の債券を発行月に応じて平準化して購入する
- < 各社5年債発行実績（単位：億円） > ※発行予定額

R5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東日本	800			300								
中日本		1,000			1,200	1,000		700		700		1,200
西日本		900		500	800		700		400		300	
首都							300				350	

R6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東日本	1,000			500								
中日本		600		900		800		1,150		500※	800※	
西日本		1,400		800	900		600		100			
首都							300				350※	

- 令和7年度の5年限の運用想定スケジュールは下表のとおり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運用手法	予約購入	予約購入	引合い	予約購入	予約購入	引合い	予約購入	予約購入	引合い	予約購入	予約購入	引合い
運用額	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30

- ・各月30億円、各社2回を目安に、高速道路会社債を予約購入にて240億円を運用し、発行がない又は少ない月は引合い（入札）にて120億円を運用する
- ・ロットの確保が難しい場合や発行月が変動した場合は、翌月に繰り越す等、柔軟に運用スケジュールを変更する